

児童発達支援 らくがき探検隊

支援プログラム

7 年

19 日

法人（事業所）理念		ノーマライゼーションに基づき、子どもが自分らしく過ごせる環境を提供する。また保護者と共に子供ができることや得意なことを見つけ、伸ばしていくことで自己肯定感を育て、情緒の安定を図り、二次障がいを防ぐ						
支援方針		子ども主体で、自分を伸び伸び表現できる環境を作る。また家族のレスパイトケア						
営業時間			9 時	0 分から	14 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり なし
		支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	身体的、精神的、社会的側面からの健康観察を行い、些細な変化にも気付けるようにする。食前の手洗いや消毒の指導をし、偏食や食感などの特性を理解し、無理強いしないように気を付ける。食後は歯磨き指導を行う。排泄サポートなども行う。						
	運動・感覚	どの感覚が弱いのかを把握し、特性に合った感覚統合遊びを取り入れる。また、モンテッソーリ教具を使用し指先遊びを行い、脳の活性化を図る。本人の好きな遊びや感覚を知り、スノーズレン（感覚遊び）など支援に繋げる。						
	認知・行動	パニックを起こさないようにスタッフの声掛けや対応を統一し、問題行動の原因を追求しながら、支援を行う。						
	言語コミュニケーション	子供が発信できるように常にスタッフは落ち着いた態度で接する。あいさつや点呼など朝の会に取り入れ身につける。						
	人間関係社会性	楽器遊びやリトミックなど、集団を通して社会性を身につける。また外出など行いながら、外部の人や同事業所の利用者との交流を図る。子供同士のトラブルがあった際は、スタッフが間に入り、サポートする。						
家族支援		家族のレスパイトケアにも配慮し、相談会や勉強会を設ける。				移行支援	公共施設などへ出かけたり、同事業所の利用者との交流を図る。	
地域支援・地域連携		医療機関や保健所、児童相談所などの専門機関と連携を行う。				職員の質の向上	外部研修に参加したり、月に一度施設内で勉強会を行う。	
主な行事等		毎月その時期の行事を行う 例）花見、夏祭り、ハロウィン、クリスマス会など						